

第1回独重奏演奏会開催!!

■平成7年10月7日(土) 2:00PM ■吹田市文化会館メシアター中ホール

フルステージの「OBコンサート」は4年に一回の開催、という事が先のコンサート実行委員会で決議されたが、その間に「小規模のコンサートの開催」が当初より提案されていた。当演奏会は17期の森兼弘氏を主宰として当案を企画、実現に至ったもの。これにより、大小2つの演奏会がOB会の大行事として遂行される事となる。今後は、より多くのOB諸氏の参加を願っております。

フルステージの「OBコンサート」は4年に一回の開催、という事が先のコンサート実行委員会で決議されたが、その間に「小規模のコンサートの開催」が当初より提案されていた。当演奏会は17期の森兼弘氏を主宰として当案を企画、実現に至ったもの。これにより、大小2つの演奏会がOB会の大行事として遂行される事となる。今後は、より多くのOB諸氏の参加を願っております。

当演奏会は元々独奏楽器であるクラシックギター本来の姿を余すことなく反映した演奏会であった。アマチュアの独重奏演奏会やギター教室の発表会など多種ある中で、これほど内容の高い演奏会は他に類をみないと思える。ステージ数は12と少なかつたが、少ないからこそ充実したのかも知れない。現役の独重奏演奏会は30回近くにもなり関西学生随一の演奏会であるが、やはり研究発表会の域は越えない。しかし乍らその中にも上位数人は特筆すべきソリストが毎年潜んでいる。今年の浦田氏などはコンクールで1位になるほどの鬼才だ。今回のOB演奏会は現役時代明らかにその上位なるレベルの者を選びすぐつたとも言える演奏会で構成されているのだから至極納得のいく所でもある。また、現役時代よりもテクニクこそ下降しているが年の功と言うか、表現力は一段と上昇している者もいる。

途、中断してしまつた奏者でも高く評価されていた。やはり年の功で聞かせどころは心得ていたと言えるのかも知れない。同じ事が4重奏にも言える。4人が演じたミスタツチの数は計り知れない。にもかかわらず、曲としての出来はかなりの高水準であつたと思える。相対的に現役生の様に舞台慣れはしていないし、緊張の度合いは幾許かとも察するがそれなりにやれるものだな、と感じさせる演奏会であつた。

又、先に述べた様にステージ数が12しか無かつた所、仮に20や30有れば如何なものだつたらうか。本当にレベルが下がるのだろうか。仮に多少レベルが下がつても幅広くクラシックギターの魅力を引き出せるのなら、ベターだとも思える。この演奏会で批判的な意見の中に、ポピュラリティに欠けていると言う声があつた。即ち「魔笛：」「アルハンブラ：」等々を取り入れるべき、と言う訳だ。次回はこう言つた意見を踏まえて、イメージな名曲からマニアックなものに至る幅のある演奏会にしたいものである。尚、演奏者こそ数あれど司会の出来るOBの探索に手間どい、司会者に限つて非会



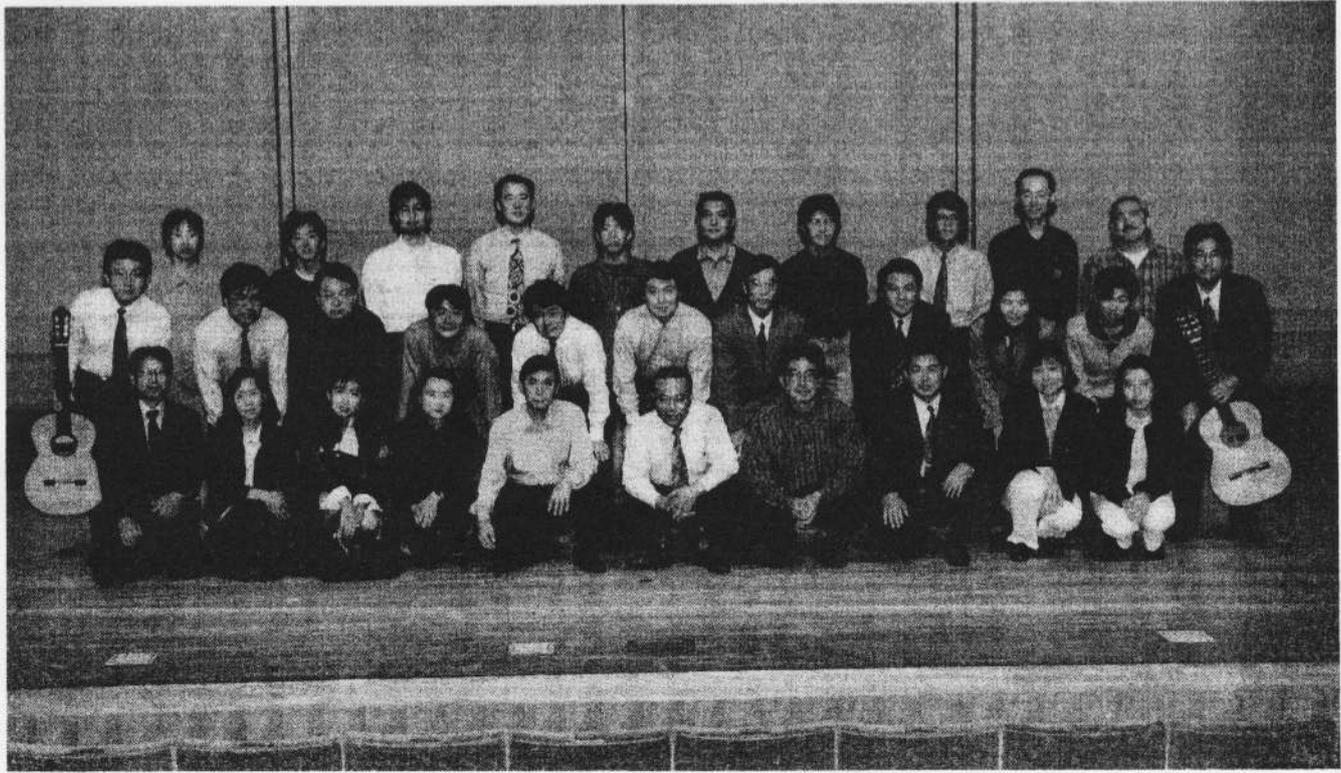
第 10 号

平成7年11月1日
関西大学ギタークラブ
OB会 発行

機関誌編集委員会

上田 新平 (6期)

高本 健児 (9期)



員で若手ギタリストの、井本尚子さんに依頼する事となった。彼女はABCテレビ・楽器美人コンテストに出場した有名人でもある。

当演奏会は前回のOBコンサートに比べて宣伝の度合いが非常に少なく、又出演者が少なかった事もあり、来客数が約100名と主催者の(高い)予想に反して寂しいものであった。中でもOBが20名しか来場しなかったと言うのは、OB会としても大きな課題を残す結果となった。2年後に控えた「第2回OBコンサート」に於いては、ステージ作りのみならず来場促進の面でも十分に策を練って頂きたいと願うものである。

独重奏演奏会を終えて

17期 森兼 弘

出演者の皆さん、本日は大変お疲れ様でした。私とパンフレット担当の高本氏もホトホト疲れしましたが、こうして楽しく打ち上げをしていまして、第1回OBコンサート終了後の幹事会で独重奏演奏会の承認以降、色々とがんばった甲斐があったなと思います。

プログラムも極めてスムーズに進んで、ひとえに吉井君(4回生)を始め現役生の御手伝いのお陰だと、出演者一同感謝しております。「自分らが現役だったら、こんなにOB

に協力せえへんやろな。」とは某出演者の声。

それにしても、早くも『第2回:』の話をしている諸先輩方、「森兼、また委員長やれ」「死ぬまでやれ」はないやろ。いやいや、ないですよ。9期・藤井さんに至ってはプライベートな事まで「森兼君、1回は結婚せよ。」『第2回:』は、藤井さんを委員長とし、低レベルな演奏会もいいかも。

それにしても私の趣味で選んだ司会者の井本尚子さんは、なかなか来ないな。

(打上げ会場・エスバーニヤにて)

出演者インタビュー

▲上田新平 稲谷君の誘いで素敵な曲で参加。ステージでのあの緊張感健康でLIVEが一番やネ!

▲中島晃 出番前の緊張。心残りの本番。楽しい打ち上げ。今回は突発性中風に気を付けよう。

▲中島るり 慣れないフルートで出たのが間違い。今回は失敗がめだたないギターで合奏に出たいです。

▲高本健児 殆ど親指だけの出演となった。まだ、指がしびれている。「竹本真一」年を取るたびにあげる事を覚えてしまった。もう二度と出ないで。

▲小柳豊茂 思わぬハプニングによって楽譜にないパートを弾いてしまいました。

▲浅野一則 想い出に残る素晴らしい演奏会でした。実行委員長の森兼

さん、本当にご苦勞様でした。

▲中村逸三 演奏中に「もう1回やりませう」と言ってしまったので、次回の独重奏にも出させて頂きます。

▲青木朋幸 あまりあがらない方なのですが少しあがってしまいました。でも関西パワを思い出したので、また東京で練習に励みます。

▲坂田年正 久しぶりにみんな集まって大変楽しかったです。演奏の出来はマア、あんなものでしょう。

▲浜近由香利 楽しい演奏会を企画してありがとうございます。次の機会があればまじめに練習します。

▲森兼弘 あゝ男のしあわせ。

▲末岡成基 リハ・本番含めて山口県から2往復。演奏後女房、子供の顔が真っ先に浮かぶとは……。

▲井開隆広 パートナーの安田君のために弾くことを心がけました。一生の想い出になりました。

▲木村浩三 他の人の演奏に感動しました。もっと推進したいと思えます。

▲安田貞之 良い思い出となりました。井開さん、ありがとうございます。

▲稲谷朋彦 第2回独重奏も4重奏で出演したいと思えます。もちろん委員長は森兼さんです。

▲田浦優一 演奏会には残念ながら出席できなかったが、夜の懇親会のみ出席できて大変嬉しく思っています。(9期の田浦さんは、当日梅花女子大ギター部OG会に出席した後かけつけてくれました。)

探しています!

OB会も会員総数が513名となり、会員の管理が非常に煩雑化してきました。7月9日に行なわれた幹事会では「OB会にパソコンの導入を」という意見が出ましたが、現在の財政状況では無理が有り、とりあえず本紙にて呼び掛ける事としました。

●買い替え等で不要になったパソコン(データ管理、作表の出来る程度のもの)を提供して下さる方、左記まで《ご一報ください》

連絡先/稲生 哲夫(9期)

新OBと幹事の紹介

本年度の卒業生(第32期OB)は10名で、幹事は元部長南方浩さんです。OB会員総数は513名になります。名簿を同封しておりますのでファイルに保管下さい。

■お悔やみ申し上げます。
第32期 窪田健之さん
本年8月6日、脳腫瘍の為逝去されました。名簿には記載されていませんが、住所・電話は次の通りです。

人事異動

《会計監査》4期の林清治さんから6期の西尾保弘さんに引き継がれました。

第1回独重奏演奏会〈パンフレット〉差し上げます。

当日のパンフ(プログラム)をご希望の方は、切手130円分(郵送料)を同封の上、下記担当者までお申し込み下さい。(申込み先) 高本 健児 宛

第1回独重奏演奏会 プログラム			
＜第1部＞			
①大聖堂 (A. バリオス)	末岡 成基 (18期)		
②郷愁のショーロ (H. ビラ・ロボス)	青木 朋幸 (11期)		
③ファンタジア第10番 (A. ムダーラ)	中村 逸三 (10期)		
④主題と変奏 (J. ブラームス)	1st G/井開 隆広 (18期)		
	2nd G/安田 貞之 (19期)		
＜第2部＞			
⑤ガボットショーロ (H. ビラ・ロボス)	小柳 豊茂 (10期)		
⑥フルート組曲 (J. B. ルイエ)	フルート/中島 るり (9期)		
	ギター/中島 晃 (8期)		
⑦タンゴの歴史 (A. ピアソラ)	フルート/上田 新平 (6期)		
	ギター/稲谷 朋彦 (19期)		
⑧ファルーカとプレリアス (パコ・セペーロ)	浜近 由香利 (16期)		
＜第3部＞			
⑨ブランデンブルグ協奏曲第3番 (J. S. バッハ)	アルト G/稲谷 朋彦 (19期)		
	1st G/森兼 弘 (17期)		
	2nd G/竹本 真一 (9期)		
	バス G/高本 健児 (9期)		
⑩南のソナチネ (M. M. ボンセ)	木村 浩三 (19期)		
⑪舞踏礼讃 (L. プロウエル)	坂田 年正 (16期)		
⑫ソナタ 二短調Op.61 (J. トゥリーナ)	浅野 一則 (10期)		

出演者募集！第2回OBコンサート出演応募要項

平成3年に88名が参加して行われたOBコンサートですが、いよいよ第2回に向けて出演者を下記の要領にて公募します。多数の参加者を希望します。奮ってご参加下さい。

- 会 期：平成9年春の予定
- 資 格：OB会会員（規約に基き、関大ギタークラブに在籍した方、34期は新OBとして含まれます）
- 申込方法：出演したいジャンル（複数可）と希望パートを明記の上、実行委員会のメンバーにお申し込み下さい（ハガキ、TEL、FAXいずれも可）
- 参加費：10000円（運営費です。第1回コンサートは約120万円でした。）
- 締 切 日：平成7年12月31日

〈注意事項〉アンサンブルによっては定員に達した場合、他のアンサンブル又は他のパートへ移行させて頂く場合があります。

- ①バロックアンサンブル（リーダー／17期・森兼 弘）
曲 目：ブランデンブルグ協奏曲第6番（バッハ）
定員数：1st. 2nd. 3rd. 4th. ギター 各3～4名
難易度：4th. → 3rd. → 2nd. → 1st. の順に難しくなります。
- ②ラテンアンサンブル（リーダー／9期・竹本 真一）
曲 目：海と空、キサス・キサス・キサス、エル・クンバンチェロ、ブラジル
定員数：トップギター×1名、1st. 2nd. 3rd. ギターは無制限、打楽器は4～5名、フルート、コントラバス、キーボード等希望者歓迎
難易度：2nd. → 1st. → 3rd. → トップの順に難しくなります。
- ③大合奏（指揮者／19期・木村 浩三）
曲 目：「くるみ割り人形」より、花のワルツ（チャイコフスキー）
「小組曲」より、メヌエットと行列（ドビュッシー）
おもちゃの交響曲（L. モーツァルト）
アンコール～少年時代（井上陽水）
定員数：1st. 2nd. 3rd. 4th. ギター 無制限、コントラバス、フルート希望者歓迎
難易度：4th. → 3rd. → 2nd. → 1st. の順に難しくなります。
- ④クラシック独奏：2名（演奏時間は1人6分程度）
- ⑤クラシック重奏：1組（演奏時間は6分程度）
- ⑥フラメンコ独奏：1人（演奏時間は6分程度）
- ⑦フラメンコ重奏：1組（演奏時間は6分程度）



※独奏・重奏については
第1回コンサートに出演した方は除外させていただきます。

※第1回は演奏時間が長過ぎた、という意見が多く、ステージ数を第1回の10から8に減らしました。

●特報！ご家族出演のステージを設けます。（ご家族の参加費は不要です）

特別企画

第2回コンサートは新しい試みとして《ご家族の出演》を企画しました。子供さん、奥さん、ご主人、ご両親と一緒に楽しめる、ほのぼのとしたステージでOB会らしさを演出したいと思います。奮ってご応募下さい。出演できるステージは大合奏の「おもちゃの交響曲」で、演奏する楽器は問いませんが、電気楽器は設置出来ませんのでご了承下さい。練習や合宿にも参加して下さい。



〈楽器の一例〉リコーダー、ハーモニカ、ピアノ、木琴、トライアングル、カスタネット、

※みず笛、※かっこう笛、※がらがら等（※印は当方で用意します）

●他に使用したい楽器があればご相談下さい。

●実行委員メンバーも募集中！

コンサートの運営に携わりたい方、大歓迎です。右記の実行委員までご一報下さい。スタッフも有意義ですよ！

コンサートまでの予定

- ◎楽譜・デモテープの配布／平成8年4月～5月
- ◎練習開始／各ジャンルによって異なりますが、平成8年秋位からで、毎月1回程度
- ◎合宿／前回好評につき実施の予定です。日時は未定。

OBコンサート実行委員会メンバー

竹本 真一(9期)
高本 健児(9期)
山本 直次(12期)
夏目 隆由(12期)
青木 敏明(12期)
長谷川容子(17期)
森兼 弘(17期)
木村 浩三(19期)

合奏・アンサンブルいずれもデモテープを作成しますので、練習に参加しにくい方、地方の方も是非出演して下さい。本番のみの参加も可能です。

■詳細は実行委員メンバーまでお気軽にお問い合わせ下さい。

阪神大震災

OB会でも 支援活動!

史上希なるこの大地震によって我々OB会々員の中でも多数の方が被災しました。OB会では阪神間・淡路島の被災地区に限定して会員並びに現役部員に対し被災状況の調査を行なうと共に、義援金の募金活動を実施しました。調査についてはアンケート葉書の回収が思うように進まず、また状況を考慮しても、とても低い回収率となりました。結果は全会員に報告した通りですが、報告又義援金の分配に至るまでかなりの日数が経過した事をご理解下さい。

義援金の分配方法は本年度幹事会で検討した結果、被災の度合いに関わらず一律に分配する事に致しました。被災者数は丁度100名で義援金総額が60万円、従って一人当たり六〇〇〇円の分配となりました。その内一件当たりの現金書留郵送料500円を差し引いて郵送する旨併せて決議しましたが、現役の皆さんの申し出により郵送料として五〇〇〇〇円の援助を頂く事になりました。現役の皆さんに厚くお礼申し上げます。又、義援金を送付された会員の皆

義援金寄贈者一覧 (敬称略・期順)

- (3期) 植田淳一
- (4期) 松田英輔、八島威、潮田俊太、林清治
- (5期) 名倉武英、吉岡正代、河野修、山本俊明
- (6期) 堀雅人、松山彰輝、西尾保弘、上田新平、山本雅子
- (7期) 山本隆司
- (8期) 吉見与一、藤田米三、峯下良子、市橋良紀、安藤隆文
滝正巳
- (9期) 稻生哲夫、福井重子、鳥井正、湯浅健治、藤井隆
- (10期) 浅野一則、小柳豊茂、奥茂樹、米阪憲和
- (11期) 森繁弘、藤田真智子、氏原進、岩崎一夫、井上正彦
- (12期) 江袋芳味、小野益男、吉田高明
- (13期) 石田薫、辻本恒一、辻本節子、田中淳志、田中陽子
- (14期) 野中けい子、照屋政秀、照屋と志江
- (15期) 山本弘子、小比賀裕見子
- (16期) 坂田年正
- (17期) 森兼弘
- (18期) 木村淳子、井開隆広
- (19期) 浅井悦子、地主広利、田中孝之、木村浩三、木村雅子
- (20期) 民岡恵子、浜辺孝廣
- (21期) 北島和彦、島瀬雅敏
- (23期) 中村友昭
- (25期) 田畑博昭
- (27期) 福井博之
- (28期) 三木裕紀子
- (29期) 西原努
- (30期) 土居武、田中香世子、山路義靖、城田麻紀
- (33~36期) 現役生一同
- (有志) ゴルフ会、10期一同



様より多数の礼状をお寄せ頂きました。さらには義援金をOB会の運営費に活用して欲しいとの旨辞退された方々もおられました。皆様のお心に感謝致します。

阪神大震災はボランティアなど全世界から援助の手が差し伸べられましたが、逆に行政の対応等で非難の声もあがりました。今尚、神戸市では仮設住宅の問題など不協和音が響いております。被災者の多くは住宅の修理や居住地、調度品の調達、果ては心のケアの問題等々大きなキズ後をふさぐには今後も長大な期間を要する事と思えます。OB会でも、被災会員の復興の為に今後とも支援の手を差し伸べてあげて欲しいと願っております。

卒業して20年になりました。

12期 小野 益男

大学を卒業して20年になりました。今年には地震で始まりました。我が家は、大阪市西淀川区です。大阪市内で唯一小学校に避難した世帯がある区です。我が家の、被害は食器棚の中の食器が壊れた(酒屋にもらったビールグラスは不思議と割れていなかった。)後は、外壁にひびが入り、また、風呂場の白壁にひびが入った程度です。日曜日にDIYのお店でコーキング剤を買ってきて自分でひびを直せる程度でした。しかし、我が町は戦後間もない建物が多く、瓦が落ちた家も多く現在建築ラッシュになっています。

大学を卒業して20年になりました。したがって、会社も入社して20年です。我が社はリフレッシュ休暇といって10日間の特別休暇があります。そして、わずか7万円の旅行券ももらいます。家内と娘(小学1年生)をつれてハワイへ行ってきました。夏休みの時期のハワイはやはり家族連れが多く、小さな子供がホテルの中を走りまわっていました。少し不安の傾向が出てきたので買い物はどうかなどおもったのですが、新婚旅行以来のハワイなのですが、昔ほど外国でものを買うという欲望が起りません。これも、昨今の価格破壊による内外価格差の縮小の影響かなともおもいました。子供は、ハワイよりも動物園やマリナーパーク

住所変更者案内

例年、住所変更案内は本紙に掲載してきましたが、本年度より名簿と同様式のB5サイズで同封しましたので、ファイルして保管下さい。

尚、昨年度(機関紙送付時)以降に住所が分からなくなった方を列記しましたので、ご存じの方は、ご一報下さい。連絡先は表紙額欄に記載。

(13期) 山川理、林龍三(14期) 井口雅行(16期) 田村美佐(25期) 岡田直樹、西島庸尋(26期) 沖野成徳、荒尾健司(27期) 濱田勝成
(以上、敬称略)。

「あるべじお」満10才

機関紙「あるべじお」は昭和61年11月に創刊以来今版で第10号になりました。創刊号は「OB会ニュース」という敢えて無味乾燥なるタイトルにてスタートし、「タイトル一般公募」を行ないました。現在の「あるべじお」は7期の金銅恵津子さんの作品で、額の題字も金銅さんの自筆によるものです。一般寄稿者は10年間で93名になります。中には2回3回の常連さんもあり、記事の総数としては102になります。毎号の平均数は丁度10と言う事になります。年

度により片寄りがあるのが別表で分かると思います。又、これまでの執筆者名も別記しております。期別で見るとこちらもバラツキがあります。執筆者の少ない期の方、是非是非寄稿して頂きたいと思えます。又、

「概要」

- 執筆量 / 800字位まで
- 題材 / 自由
- 締切 / 9月15日
- 送り先 /

「行程」

- 被推薦者への推薦依頼 / 7月中旬
- 同締切 / 8月10日
- 同締切 / 9月15日

※写真等、出来るだけお送り下さい(お返しします)。
高本 健児 宛

お元気ですか？

23期 渡辺 努

ギター部OBの皆様お元気でしょうか。小生なんかやっております。先日、シヤコンヌという映画を見にいつてまいりました。テーマは例のバッハのヴァイオリン曲です。その映画に引き込まれ主人公の演奏するヴァイオリンを聞くうちに、今は遠い日の感じのする学生時代の日々が思い返されました。思い返すと懐しいというよりは、むしろ恥ずかしく感じられる事がまず心の中を占め、なかなか思い返すことにためらいを感じておりましたが、先日以来その感情も消えております。苦く思い返

す事は多々ありますが、その中でもギター部を振り返る時思い返されますのは、保守的にしてしまつたクラブ運営、個人的音楽センスの欠如、等々にファンダメンタルな部分に因るところが多く、恥ずかしく思い返されます。そんな恥ずかしさとは裏腹に、おそらく皆さんと同様に忘れる事は出来ない気持ちが湧いてくることも事実であり、このような二種類の背反する気持ちが同時に湧く事におかしみも感じております。

最後にになりましたが、クラブで共に過ごしました、先輩、後輩の皆さん。なかなか互いに会える機会も無く、一期一会とはこのことかなと思われませんが、是非共、何年先になるかは判りませんが、機会を作りあの頃の事を語り合ひましょう。それでは。

創刊号	18
第2号	11
第3号	12
第4号	14
第5号	5
第6号	9
第7号	6
第8号	6
第9号	9
第10号	12
合計	102

過去執筆者一覧 (第10号を含む)

- 1期 / 根本善弘
- 2期 / 岩井英二
- 3期 / 西側圭治、植田淳一、高谷惇、菅原光生
- 4期 / 尻池頼識、八島威、松田英輔、今田克忠、佐藤紀之、富井善之
- 5期 / 吉岡正代、横山忠、大東英昭、山本俊明、本田英志、上村泰彦、正来宏潤、臼井彰彦、須知佑輔
- 6期 / 藤野雅男、上田新平、前田由美子、松山彰輝、山本雅子、西尾保弘
- 7期 / 金銅恵津子、咲田規子、松本和美、清水健之、永井正枝、宮川真一、小島恵子
- 8期 / 松本卓二、山本廣助、藤田米三
- 9期 / 木村充夫、竹本真一、中島るり、田中直樹、井上享、西原憲一、鳥井正
- 10期 / 小柳豊茂、西尾義典
- 11期 / 青木朋幸、井上正彦、森繁弘、氏原進、金山隆幸
- 12期 / 青木敏明、山本直次、夏目隆由、小野益男
- 13期 / 谷本陽男、岸本孝司
- 14期 / 安宅恒夫、表具正隆
- 16期 / 青木秀展
- 17期 / 青木美樹、長谷川容子、森兼弘
- 18期 / 濱田泉、上月孝一、井開隆広、川島隆澄
- 19期 / 林真実
- 20期 / 本郷淳、稲谷祐子、鈴木まゆみ、田中忍、佐藤洋、小林由佳里、福富克巳
- 21期 / 米川敏明、戸田均、北島和彦
- 22期 / 菅野美代、小野篤司、小川透、西本秀司
- 23期 / 中村友昭、林健、国枝尊志、渡辺努
- 24期 / 福井秀子、石西秀志、横井俊彦
- 25期 / 松本純也
- 27期 / 南口大
- 31期 / 兼松利之
- 32期 / 南方浩

ギターコンサート情報

松岡 滋ギターコンサート
◎11月9日(木)、7時PM◎豊中市立アクア文化ホール◎¥2500
◎問/清水丘ギター教室
☎06-671-3129

中川 亨ギターリサイタル
◎11月10日(金)、6時40分PM
◎音楽の友ホール(新大阪、メルパルクホール西)◎¥3500
◎問/KID'S プランニング
☎06-531-9789

有本 ちよギターコンサート
◎11月17日(金)、7時30分PM◎エスパーニャ◎ライブチャージ ¥1500◎問/エスパーニャ
☎06-251-8066

ジュリアン・ブリーム
◎11月27日、7時PM◎ザ・シンフォニーホール◎A ¥5000 B ¥4000 C ¥3000◎問/大阪新音
☎06-341-0547

稲垣 絵ギターリサイタル
◎11月29日(木)、7時PM◎フェニックスホール◎¥3000◎問/フェニックスホール
☎06-363-7999



倉石 仰美ギター独奏会
◎(1)12月3日(日)、2時PM
◎(2)12月5日(火)、8時PM◎グラナダ南店◎¥2000(1ドリンク付)
◎問/グラナダ☎06-341-1267



小さな星

21期 北島 和彦

最近はまだギターも弾かなくなつてしまいましたが、この夏、ちょっと懐かしい曲を耳にしましたのでご紹介します。

実は私、7月23日に結婚しまして、長い独身生活にピリオドを打ちました。同期の中で残っていた独身は、ほとんどいなかったのには心配かけていたと思います。(ほんまかいな)

新婚旅行は、マイカーで尾瀬・信州方面へ行きました。冬にカナダへ行くつもりで今回は国内旅行にしたわけです。旅の途中、清里とあるペンションに泊まりました。「エストレリーター」という名のそのペンションではオーナーと上品な奥様が出

「第22回 日本ギターコンクール」にOB、現役併せて8名が出演! (大学生の部)で4回生の浦田庄平さんが優勝!!

本年8月20日(日)と9月3日(日)に行なわれた第22回日本ギターコンクール(読売新聞社・主催)にOB2名、現役6名が出演した。同コンクールは全国的にも権威のあるコンクールでプロギタリストの登龍門となっている。審査員の中にも第16期OBの坂田年正さんが例年出席している。OBからは(一般の部)に17期の森兼弘さん、(重奏の部)に30期の城田麻紀さんが二重奏(パートナ―は非会員)で出場。現役生では(重奏の部)四回生の古瀬憲さんと坂本綾子さんの二重奏、(大学生の部)には四回生の浦田庄平さん、吉井淳一さん、二回生の塚田泰久さん、田中香織さんがそれぞれ出場した。中でも4回生の浦田庄平さんはドメニコ二の「アナトリア民謡による変奏曲」で、優勝の栄冠を勝ち得た。

迎えてくれました。私は「エストレリーター」という曲(あのメキシコの作曲家M・ボンセの小品で「小さな星」という意味)を聴いたことがあったので、奥さんに「エストレリーター」で曲ありましたよね」とたずねてみると、「ええ、トリオ・ロス・パンチョスも歌ってましたわ。主人が好きでよく聴いてましたの。よろしければかけましょうか」と夜も更けたダイニングルームでラテンのテープを流してくれました。「キサス・キサス・キサス」「シボネイ」「ベサメ・ムーチョ」etc...。懐かしい曲ばかりで、しばし聴き入ってしまった。もちろん「エストレリーター」(これは初めて聞きました)もありました。ギター部時代にラテンアンサンブルで演奏した曲もいくつかありました。私達夫婦だけじゃない深夜のダイニングルームに流れ

OBも友情(?)出演 間下ギター教室研究発表会

本年9月17日(日)、八尾プリズムホールの練習室にて柏原市在住の間下先生の門下生研究発表会が開催された。高校生から年配の方まで幅広い年齢層が出演、クラシックからポピュラーに至るプログラムで展開された。大きなひとつの家族を思わせる和やかな発表会だった。我がOB19期の木村、船谷両氏と先生は古くからの知り合いという事で、以前からこの発表会には出演しているらしい。



るラテンナンバー。ラテンを全く知らない妻でさえ、静かに耳を傾けていました。若者向きのペンションが多い中、私達は、八ヶ岳山麓のこの落ち着いた輝きの「小さな星」がたいへん気に入りました。清里を発つ時またいつかここへ来ることができればきつと、「エストレリーター」をギターで演奏してあげようと思ひそかに思ったのでした。

今回は同じ柏原市在住のOB6期の西尾氏、17期の森兼氏、そして木村氏がソロで出演。又、9期の竹本、高本両氏と船谷氏、森兼氏が4重奏で出演した。友情出演というよりは単に(へ出たがり)という感があつたと言ふのも、もう一つの目的は、先生のアトリエで行なわれた「打ち上げパーティー」だ。木の香り豊かなログハウスのアトリエで、西尾さんカンパのすっきりお馴染みになった柏原ワインで乾杯。夜が更けるまで飲み、食い、ギターを弾き、騒ぎまわったとか。

♥40席のゆったりライブアワー!
♥セット料金 ¥1,500
♥学生割引! 大学生は2割引サービス
♥大ステージ設置!
★お気軽に、ステージで弾いてみてください。
♥超HIFI、オーディオシステム
♥コンサート会場に
パーティ会場にご利用ください。
■営業時間/5:00PM~0:00AM (年中無休)
〒542 大阪市中央区東心斎橋1-8-14 オープ・ナテビル3F ☎(06)251-8066
●地下鉄御堂筋線・心斎橋駅下車、心斎橋駅南へ300メートル。 ●地下鉄御堂筋線・長堀橋駅下車、御堂筋線出口西へ100メートル

COFFEE TIME ★11:00AM~6:00PM★
PUB TIME ★6:00PM~11:00PM★
MODERN JAZZ
トッパンカール
ホテル エコー 天王寺 近き
アベノロータリービル 地階
アボロ 近鉄
☎649-6816
あへの交差点角・牛井吉野屋ウラ
アベノロータリービル地階

近況をお知らせします。

5期 須知 佑輔

最近特に忙しい毎日を送っており、同期や諸先輩の方々にも紙面でお話できない状況です。現在日本ウエルカム㈱のマーケティング本部業務企画部で仕事をしています。英国系の医薬品メーカーです。昨年度より直属の上司がアメリカ人、今年になってイギリス人（社長が同様）になり、彼らと仕事上の打合せをするにはどうしても英会話力が必要となり再度勉強を始め、何とか通訳なしにやりとりできるようにしました。時には思い違いがあつてトラブルこともありますが…。四十才過ぎてからの英語の勉強は大きなハンディを負っています。仕事のストレスも増えてくる時期でもあり、また記憶力も減退しており、毎日毎日悪戦苦闘しています。しかしよい事もあります。昨年、今年と家族でアイルランドへホテルの予約もせずに出かけ、こちらのペースで外国旅行ができるようになりました。また外国人の家庭へ招待されたり、したりで日本人と違ったホームパーティーの雰囲気も味わうこともできます。このように英語には毎日時間をとられている関係でゴルフは小休止状態です。しかし毎日ジョギング（3〜5km）とバイクは続けています。プライベートでは結構好きなようにしていますが、他の家族も同様で女房は現代美術にはまり込んでおり、100〜150号の作品で小さな家がより狭くなっています。昨年は三重県立美術館の買い上げに作品がなり喜んでいました。娘は中学〜大学テニス三昧です。高校の時インターハイに行つたのが自慢です。私は今から勉強せずにテニスばかりしてゐるので3年先の就職（女性は氷河時代と聞いており）を心配しています。だから3人毎日バラバラですが、何かある時にはしっかりと団結して行動できるので、家庭のことについては安心して



います。会社の方は英国本社が今年になって2社が統一されグラクソ・ウエルカムという世界最大の製薬メーカーになりました。日本では当分統合は行なわれませんが戦略的な面での協議は行なわれるでしょう。このように非常に変化に富んだ毎日を送っています。最後に皆様方の健康をお祈り致します。

マイ・プレジジャー

7期 金銅 恵津子

「やっぱり今週もまぎわになつてあわてる！」
寝る時間が近づくのに、テーマすら決まらない…。次第にあせりの色が現われる。もうどうでもいいとばかり、新聞のちよつとした記事を引用することにした。中国のどこかで、やぎや羊が湖で集団入水自殺をしたという不可解な事件を取り上げた。干ばつなどで餌不足の上、固体数が増え過ぎたため、小動物レミングなどに見られる、これはひとつの自然淘汰であるとし、あげくに人間社会では戦争がその役割を果たしているなどと、恐ろしい結論までつけてこの回の「小論文」は切りぬけた。フランスは核実験を頑として止めないし、世界中紛争の絶えた事がないことが立派な根拠だ、なんてひとり納得しながら…。

書き終えた頃には、家族はもうすっかり寝静まつていた。いつもどたん場にならないと出来ない性格は改めねばと思ひながら、容易には治りそうもない。毎週一回レポート用紙で二枚程度、何についてでもよいから英語でクラスの前で発表せねばならないとわかつていても、ドイツ語を七年間習って、今度は英国人の先生の英語クラスに出席しだして一年半、毎回全員（といつても七、八人）の小論文に、たとえどんなトピックが出されようと辛口のコメントを入



れてくれる先生の博識ぶりに感嘆しつつ、私の生活のスパイスとして続けている。次は何を書こうかと、新聞の隅々まで目を通し、生活の中すべてに情報キャッチ用のアンテナを張りめぐらしている。

先生は、考え方が質実でいかにも英国紳士である。これまでアメリカ英語教育を受けてきた私にとつて大いなる発見がたくさんある。まず「Thank you」といわれたら、「You're welcome」と答えると習ってきたのに、My pleasure といわないとおこられる。いうまでもないが待つておられる。教養のある人だけが使う英語を徹底して教えられるので、教養をつけねば！となるわけである。滞日二十余年の先生は日本を思つてのジヤパン・パッシングも相当なもので、違つた観点からだけに驚きであり、

身に応える。今年は何頭から何百年に一回起こるかどうかの出来事が次々続いているが震災にしてもオウム事件についてもその都度クラスで話題に上り、年令も環境も違う人達の意見や感想が聞けた。
子育てが一段落つてからの趣味だが、頭の活性化に役立つし、家族に迷惑をかけない範囲でがんばろうと思う。次週はもう少し早目に論文を書き終えるよう努力して…

ギター生演奏の店 (クラシック・スペイン・アコースティック)

スペイン風 居酒屋 **グラナダ**

☎(06)314-1267

●6:00~12:00(日・祝は11:30まで) ●演奏7:30/9:00/10:30

月なかのかつき(G.Vo)	木なかのかつき(G.Vo)
火松岡 滋(G)	金なかのかつき、松岡滋
なかのかつき(G.Vo)	土ミニコンサート
水なかのかつき(G.Vo)	日奈良富雄(G)

〒530 大阪市北区神山町8-14 日宝東急レジヤビル4F
(阪急東通商店街東端 アークゲートが無くってから東30m(ローソン前))

グラナダ 南店

☎(06)213-7223

〒542 大阪市中央区心斎橋筋2-7-11 日宝ロイヤルビル4F
(心斎橋筋ニシムラ西入すく) 三津寺筋の
(又は御堂筋三津寺を東入すく) 御堂筋と心斎橋筋の間

<南店ライブのご案内>

★なかのかつきvs岡崎咲華雄
11月14日(火) 20:00 15日(水) 20:00

★倉石仰義ギター独奏会
12月3日(日) 14:00 5日(火) 20:00

■入場料 至2,000(1ドリンク付)要予約
ご予約 ☎06(314)1267 グラナダ (受付:18時~24時)

況告 近報

札幌から

18期 川島 隆澄

OB会の皆様、ごぶさたしております。お元気ですか。私は現在、住み慣れた千葉県船橋市を後にして転勤で北海道札幌市にて暮らしております。相も変わらず仕事をしているか、音楽をしているかのワンパターンとも言える生活ですが、たまにゴルフなどをかえってストレスを溜めている様な状態です。せっかくの機会でもありますので、ここで最北の地、北海道の暮らしについてご案内させて頂きたいと思っております。

まず第一に、とにかく寒い。札幌などまだまだましな方ですが、近隣の旭川（高校野球ががんばりましたが）や道東地域など、冬はマイナス20度になります。よくこんな所で生活できるなどと思いますが、意外と平気で生活していますので、人間とは強い生物だなと、妙に感心したりする次第です。私もおかげさまで、0度を越えると「おっ、今日はあったかいね」などと言っています。次に首都圏や関西圏の人にとってはうらやましい話かもしれませんが、道路が広くて車がすいている。渋滞がないということ。一般道路でも郊外に出ると信号もなく一直線の道路です。つまり90キロ、100キロと出してしまします。北海道が交通事故全国NO.1というのともわかるような気がします。そのかわり冬の道路はすさまじく凍って路面はツルンツルン。ブレーキ

などききません。吹雪の時など視界5〜6mというか、目の前が真っ白でよく道路からはみ出してぶつかって行く人がいます。けっこう、そのような体験が武勇伝になったりすることがあり、ダイナミックと言おうかアホらしいと言おうか、まあ危ない所です。危ないと言えば、さすがに街中にはいませんが、山に行くとなると山歩きしていると、いきなり



「熊に出会った時の心がまえ」という看板が山道に立つてたりして、一瞬緊張します。昔というか20年ぐらい前は、街中に熊が出たりすることがあったらしく、町内会で「熊警報」というのがあり「熊が出たぞー」という警報がなると学校は休みになったそうです。もともとも子供たちにはその熊は歓迎されたいのですが、わかるような気がします。寒さと車

と熊の話をしました。えつと次は食物の話しましょう。よく観光パンフレットには北海道はカニとかタ張メロンとか宣伝していますが、意外と物価は高く、めったに口には入りません。やはり特産品は、観光用か東京に流れていくようでこれは全国どこでも同じやなという感じですが、ただ、北海道民の気質として、気候風土が違うせいかわどうも北海道をひとつの独立国と思っているふしがあり、よく「北海道ではこうですが、本州ではどうですか？」などと質問されます。本州ちゆうても青森から山口まであるわい、いったいどこのこと聞いとるんや、と思いつつも

「そうね、東京ではこうちゃうか」と説明しますと「川島さん、関西ですか」とすぐべれます。もつとも北方領土は見えるものですが、領土問題など他人事と思っていました。領土返還の署名をして「日本国の将来は」などとたまに考えたりしています。話はガラリと変わりますが、阪神大震災からの一日も早い復興を願っております。私の実家も全壊しましたが、おかげさまで親・兄弟、命は無事で現在復興中です。来年の2月頃、家もできると思っています。ぜひお立ち寄り下さい。と言っても私は北海道です。北海道に來られることがありましたらぜひお立ち寄り下さい。観光案内させて頂きま。最後にこの紙面をお借りして2点ほど。同期に三宅氏なる人物がいるのですが、どなたか、彼の消息を

現役生コーナー

往年のギタークラブOBからみれば衰退していると思われる学生クラブは、現任の部員数は4回生が17名、3回生が13名、2回生が14名、1回生が4名の合計48名です。1回生が少ないので今後も勧誘を引き続き行なって欲しいと思います。

定期演奏会の案内をしました。各期お誘い合わせの上、ご来場下さい

第33回定期演奏会

- 日時/平成7年11月10日(金) 午後6時開演
- 場所/吹田市文化会館メイシアター大ホール
- 入場料/無料

- ＜プログラム＞
- I部
- ◇クラシック・アンサンブル
管弦楽組曲第3番より、ガボット・ジグ (バッハ)
 - ◇フラメンコ・デュエット
松林 (タンゴス) 広い川 (ルンバ)
 - ◇ボサノバ・アンサンブル
おいしい水 (A.C. ジョビン) ビリンパウ (B. パウエル)
 - ◇クラシック・ソロ
アナトリア民謡による変奏曲 (C. ドメニコニ)
- II部
- ◇クラシック・デュエット
組曲「回転木馬」(ミラン・テサール)
 - ◇洋楽アンサンブル
Since You Been Gone (Rainbow)
To Be With You (Mr. Big)
 - ◇フラメンコ・ソロ
ラ・カーニャ (パコ・ペーニャ)
 - ◇ベンチャーズ・アンサンブル (4回生)
ダイヤモンド・ヘッド～スパイ大作戦～10番街の殺人
- III部
- ◇大合奏
大序曲「1812年」(チャイコフスキー)

ご存じないでしょうか。ある時期まで同期で会っていたのですが、現在消息不明です。元気がどうか心配です。次に一年後輩の中屋君「卒業の時貸してやったコンガ、返してくれなかつたらしゃあないけど。」

乱筆・乱文で失礼しました。またお会いできる日を楽しみにしつつ、ペンを置きます。

「拝啓 諸先輩・後輩の方々へ」

23期 国枝 尊志

機関紙の原稿執筆依頼があり、
「関西大学ギタークラブOBなんだ
！」と再確認いたしました。紙面を
お借りし、ご無沙汰しておりました
諸先輩・後輩の方々にご挨拶申し上
げます。

私は、現在、東京都北区に住まい
を構え（当然ながら会社の社宅です
が）、昨年に第一子（長男）が誕生
し、3人家族となりました。毎日こ
どもの成長に驚かされる日々をおく
っています。

最近の一番の楽しみと言えば、や
はり子どもと一緒に遊ぶことで、産
まれて以来、私の中で仕事の占める
割合は随分と小さなものとなりました
た。

私をご存じの方は想
像もつかない変貌ぶり
ではないかと思えます。
（酒を飲むのも月1回
随分と真面目になりま
したし・・・）

さて、今年で私の東
京生活も10年目に入
ります。生まれは岐阜県
でしたので、名古屋で
就職をしましたが、あ
つさりその年に東京へ
転勤！業務内容がコン
ピュータ関連とあつて
景気が良い頃は、仕事
が忙しく転勤できず、



近年は、地方の業務縮小で転勤でき
ずと9年も過ぎてしまいました。
（最近の新聞を見るに就職がとつて
も難しいということ、後輩の方々が
んばつてください。）

最近、学生時代の下宿生活を思い
出すことが多くなりました。
大学裏のスラム街のような下宿。
駅前の餃子の王将。そしてギター
三昧の4年間・・・

東京で過ごした9年間に比べ妙に
充実していたような気がします。
.....
と感傷的に暮つてもいられませんが！
扶養家族2人＋1で東京でもうしば
らくがんばります。

平成7年度幹事会 議事報告

去る7月9日(日)本年度の幹事会が
「エスパニーヤ」で行なわれた。出
席者は現役四回生5名を含む総勢22
名。議長は9期の事務局長・竹本さ
んで、植田会長の挨拶により開幕。
議題は◎事業報告◎第1回独重奏演
奏会◎第2回OBコンサート準備経
過報告◎阪神大震災義援金の分配方
法について◎その他の5題。

「事業報告」は平成6年7月～7
年6月の分で、第6回現役合同リク
レーション、ゴルフコンペ、阪神大
震災での活動内容報告、第2回OB
コンサート実行委員会発足、を各々
担当幹事より報告。「第1回独重奏
演奏会」は代表者の17期の森兼弘さ
んより出演者・プログラム・予算概
算・本番までのスケジュール等の発
表があった。「OBコンサート」は
実行委員長の12期の山本直次さんよ

り経過報告。「震災義援金の分配方
法について」は、被災の度合いに
関わらず均等に分配するへ調査対
象被災地以外に居住の会員も再検討
する必要があるとの意見が出た。
これに伴い、各期幹事に対して往復
ハガキにて調査を依頼したが回答は
無く、当初のままの被災者に対して
義援金を送付する事とした。「その
他」の項目では「事務局にコンピュ
ータの導入を」という画期的な意見
が出た。これについてはOB会の財
政上困難な為当面見合わず事となつ
たが「会員のうちからコンピュータを
寄贈してくれる方」を募る旨決議し
た。本紙にその詳細を掲載している
ので可能な方、ご一報下さい。

第2回OB「コンサート」 「実行委員会」発足

2年前、平成5年3月に第1回コ
ンサートが開催され、へ第2回の開
催時期を前実行委員会で協議した
結果「4年に1回の開催」に決定し
た。従つて第2回コンサートは平成
9年と言う事に。約2年の準備期間
を考慮して、本年4月16日(日)に実行
委員会が発足、第1回会議が行なわ

幹事会に出席して下さい。

OB会幹事会は年に一度、7月七
夕前後の日曜日に開催している。出
席案内状は各期幹事宛に送付し、幹
事に限らず誰でも、又複数の方々の
出席も促している。OB会の運営に
関する種々の課題の取り決め、又改

れた。委員長は12期の山本直次さん
で、新メンバーは現在8名（本紙3
頁参照）。第1回会議では前回の反
省点を主に検証、改善案が検討され
た。その結果ステージ数は前回の10
から8へ、家族も参加出来るステー
ジを設ける等決定した。第2、3回
会議は、それぞれ6月17日、8月19
日に開催され、合奏、アンサンブル
のリーダー、曲目を決定、機関紙原
稿を検討した。決定事項は本紙3頁

に掲載の通り。前回出演した方はも
ちろん、しなかつた方も奮つてご参
加下さい。
前実行委員会は初のコンサートと
言う事で、実に18回もの会議を行な
つたが、現委員会の場合は前回の資
料とノウハウのおかげで非常にスム
ーズな進行状況だ。実行委員会で準
備活動に参加したい方はいまからで
も受け付けます。実行委員の誰でも
結構ですから申し出て下さい。

善等を施す目的にて開催しているの
で幅広い年層に渡り、より多くの会
員の出席を望んでおります。
本年度の出席学年(へ期)は後記の
面々でバラツキが大変目立っている。
OB会のより良い運営の為、今回欠
席の(へ期)の方は次回以降是非とも
出席して頂きたいと思ひます。会員
全員(幹事以外の方)に対して案内
状を送る事は出来ないが、6月中旬位
をメドに
各期幹事・
役員にお
問い合わせ
の上出席
して下さい。
又幹事の
方も都合
が取れな
い場合、
代理人を
推薦頂き
たくお願
いします。

平成7年度幹事会	出席者
(3期) 植田淳一	名倉武英
(6期) 上野新一	西尾保弘
(9期) 上野新一	高本健児
(10期) 篠田年晴	(12期) 山本直次
(13期) 岸本孝弘	(15期) 楠本正行
(17期) 森兼弘	(19期) 大川賢一
(20期) 現役	(31期) 八雲純二
(33期) 現役	吉井淳一、上野勝正、古瀬憲、 浦田庄平、坂本綾子

「初めての入院」

6期 上田 新平

昨年11月、生れて初めての大病と入院を経験しました。仕事での出先でひどいむかつきと少々の意識不明の状態になり、家内と知人に迎えに来てもらい、家近くの病院で検査を受けました。結果は脳腫瘍という病気で、すぐに入院しなさいということでした。兵庫県のこの病院には脳外科がなく、神戸大学付属病院を薦められました。家との便利さで阪大付属病院を希望し、病室空き待ちの一ヶ月をこの病院で過ごしました。窓から池田の山並が見え、日の出や黄昏の景色が美しく、カメラを持ち込み沢山写真を撮りました。10代〜80代の方まで6人程の人と親しくなり、看護婦さんも入ってにぎやかに記念写真を撮っている。9期の竹本君が見舞いに来て『何してるんですか？』と驚いていました。窓からは隣の病室が見下ろせ、若い看護婦さんが高齢の女性の下の世話をしているのが見えたりしました。私もあの年にはまたお世話になるのかな〜と思ったり、看護婦さんの仕事の大へんさを実感しました。1月に千里の阪大付属病院に入院。13階の病室からの眺めは、東に生駒山脈、西は六甲山脈、真正面はエキスポランドや日本庭園が広がり、その先に大阪市街が見渡せる素晴らしいものでした。脳外科には脳の腫瘍の他に耳、眼の近くの腫瘍の方もいました。術後の人で立派な風格で手押し車にすわり



手術を前にして重苦しい雰囲気のある病室 (2/6)

外を見ていただけの人もいました。1月17日はすごい揺れで起こされました。病室は荒波に漂う船の様に揺れ続け、ベッドにただしがみついているだけでした。14階建ての建物が倒れるか、天井が落ちてくるか、死神が目の前で踊っている感じでした。この瞬間に「死ぬ！」と感じた多くの人がおり、不幸にも亡くなった人とそうでなかった人がいる。腫瘍に良性の人と悪性の人があり、手術が順調に済む人がいれば、そうでない人もいる。(どこで選ばれるのかな…?) この病室でもよく写真を撮ったり、いただいた病院入院用ギターを弾きました。同室の人とも仲良

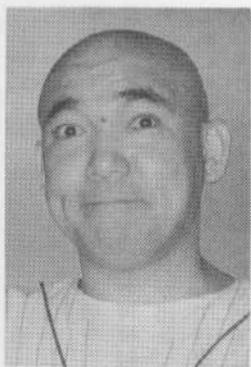
くなり、色々なアドバイスも受けました。1才未満の赤ちゃんの手術を待つ若いお母さん達とも知り合いになりました。手術の前日は病院内理容室でつるつる坊主の完全出家スタイルになります。2月8日当日、朝7時前に家族に見送られ手術室へ。手術は順調に8時間で終わりました。長い人は18時間の人もいました。手術後の私の第一声は「うそ、もう終わったの」でした。その後は無菌室で3泊。これはなかなかつらいものでした。2月28日めでたく退院。(エラク早イナ) 入院中は長老の植

私の闘病日記

11期 金山 隆幸

それは、今年の四月七日から始まった。会社の健康診断で「尿に血液が溜まっています。再検査をして下さい。」とのことで、四月二十二日人間ドックにて再検査、と同じ結果、五月の連休ゆっくりしていれば何とかなるだろうとの判断で、五月六日軽い気持ちで内科病院へ行ったが、専門外とのことで泌尿器科の病院を紹介してもらい、五月九日の予約を取ってもらった。ところがである、五月八日昼から会社で具合が悪くなった。机に座っておれない。一時間おきにトイレで吐くし、熱が出て、もう仕事どころではない。しかし、三月の決算書類を仕上げなければならぬので、夜の7時までは何とか

書類にかじりついていた。もうこれ以上はダメだと思いつつに後の事は頼んで自宅へやつの思いでたどりついた。妻が顔を見てうろたえてくれる。しかし、とにかく寝かせてくれと頼んで横になる。その間、何度か病院に行こうというが、痛くて動くことができない。10時を過ぎて痛みが安らいでできたので病院へ行くと、その日から入院、調べてみると尿管に2.5cm大の石がたまっているとのこと。尿管は5cmしかないで完全にへびの卵状態。



それから毎日2ヶ月間病院で石を砕くのかと思っていたら、大きなり過ぎて尿管が裂けるとの事で、腎臓に穴をあけて内から石を砕く方法だということ。「よくもまあこれだけ大きくなるまで我慢したものだ。」と医者の弁。妻からも、両親からも、「ええかげんにせえ！」との事ですが

田氏や手術におびえる私を一目見ようと林ご夫妻、死ぬ前にどんな顔してるか見どころと、同期の西尾君や後輩の中島夫妻、竹本、高本君、浅野君、稲谷、森兼君や長谷川さんが次々と元気づけに来てくれました。フルートの後輩の浜野さんは手術前日の電話で「神社へおまいりして祈ってきたから大丈夫ですよ」とこわがりの私を暖かくはげましてくれました。自宅療養中につらい状態の時期がありました。名倉さんや西尾君の奥様など経験者からのアドバイスやげまはしは大へんありがたいものでした。病気を経験したことで「健康が一番」ということ、そして、かつてギター部に入り、今もOB会を通して多くの人と交流が持てること、互いに支えあえる人と人とのつながりが何よりも大切でありがたいものであることを深く感じました。

い分しほられた。それから手術台に乗る事5回、麻酔有りの手術2回、麻酔無しの手術3回、麻酔をすれば覚める時に腰がぬけるほどだるいし、麻酔無しの手術は毎回5時間手術台の上で痛みをこらえなければならなかった。それでも後がラクなので麻酔無しの手術を多用してもらった。そして六月二十七日に全ての石が出て、六月三十日に背中に穴をあけたまま退院。もう病院に居たくないで、先生に無理を言って通院治療にもらった。そして七月十七日、45才の誕生日に。私の闘病生活が終わったのである。

追悼文

窪田君を偲んで

32期 南方 浩

幹部をした頃、会議が感情的になると「幹部は仲よくせないかん」と、何度か諭されたことがある。自分の考えはしっかり持っていたけれど、それを必要以上に押しつけたり無気になって云々ということがなかった。仕事を頼んでも、露骨にいやな顔をしたことがない。

「純朴」な青年。これが僕の印象だ。今、振り返ってみても思い出せる確かな言葉で綴ることができない。無理に羅列したところで空しさが募

るだけで……。

思い出すのは病氣と闘う姿。大学生活の半分を病氣と闘った。その間、どんなに嬉しいことがあっても、心の片隅には常に病氣への苦痛があった。そして何よりも回復することを望んでいたし、そうなることが至福の喜びであつただろう。今、その悔しさや悲しさを感じる心が痛む。

病氣や死を遠いもののように捉えていたけど、そうじゃなかった。死はいつか僕にも訪れる。その時初めてわかる気持ちがいっぱいあると思う。僕は友達としてどんなに映っていたのだろうか。死を心のどこかで意識することで

近況をお知らせします！

20期 福富 克巳

ギター部OB、現役の皆様お元気でしょうか？今、べ切日を過ぎてようやくこの原稿を書いています。（編集の高本さん、ごめんなさい）。思い起こせば卒業以来10数年間、不義理の限りを尽くしておりますが、

OB会の機関紙だけはいつも楽しく拝見しており、多くの方のギターへの変わらぬ情熱に畏敬の念を感じております。さて、私はといえば、はつきりいつて未だギターは持つておりません。が、卒業以来ギターケースを開けたことは多分一度もなかったと思います。

そんな私は卒業以来現在の会社に入社して直ぐに琵琶湖の辺りにある彦根（一応、近畿圏内です）に配属

されて、以来10数年が経ちました。入社3年目に結婚し、現在は小学3年生の長男と二人の娘に囲まれて何かと慌ただしい毎日を送っております。

彦根といえば、幕末の名藩主、井伊直弼で知られた彦根城を中心とした典型的な城下町で、琵琶湖と鈴鹿山系に囲まれた自然たっぷりの地方都市、つまり結構な田舎です。こちらに来て困ったことはいくらも、夜の7時には殆どの店が閉まってしまふこと（まあ、最近でこそ深夜営業のコンビニがやたらと増えました）

が、飲み屋がなぜか非常に不便な所に固まってあつて、おいそれは会社の帰りにちよつと一杯とは行

真に「生きる」ことができるんじゃないか。そんなことをこの1年、考えるようになった。最後まで回復すると信じていたが、なかなかよくならない体に対する不安とともに、僕達よりもずっと充実した時を過ごせたことと信じた。

死は非日常ではなく日常であり、そこから目を背けて「生きる」ことはできない。でも、そのことだけを教えるために友人を僕達から奪ったとするなら、この世を司る何者かは、あまりにも残酷だ。

今は、痛みもない、安らかな世界で眠ることを祈るだけです。

けないことなどありますが、大阪まで約2時間と比較的気軽に行けることから、大阪にある実家には年に数回しか帰らないけれど、周りに二回は仕事で大坂まで通っています。休日には四季を通じて恵まれた自然の中で過ごしており、この春からは、大学4年間を除いて続けたサツカーが縁で、地域の少年サツカークラブでコーチを始めました。女房と娘たちは、私に熱い声援（ブーイング）をあびせますが、息子と二人せつせと練習に励んでいます。

こんな風にすっかり田舎暮らしが根付いてしまつて、せつかくのOB会や演奏会の連絡にもなかなか重い腰が上がりませんが、懐かしい皆さんに、いつの日か再びお目に掛かれることを心待ちにしております。

クラシックギターの店

「エスパーニャ」オープン！

本年4月3日(月)、心齋橋に「クラシックギター音楽を聴ける店、弾ける店、そして語れる店」を触れ込みに「エスパーニャ」がオープンした。趣味が高じて遂にやつてしまひました、と語るオーナーはOB第10期の浅野一則氏である。氏は現役時代の定演で「アランプエス協奏曲」をブ口顔負けの早いテンポでしかも殆どノーミスで演奏した事で知られている。全国的に著名な老舗の「グラナダ」に通う度に、氏の情熱は掻きたてられ「遂にやつてしまった」のである。40席程のゆったりとした店内には白壁いっばいに現代スペイン画家・ミロの絵が描かれている。正面には三重奏が演奏可能なステージも設けられ、そのバックにはギターリスト、フラメンコダンサーの躍動感あふれる4枚の絵画が、そしてステージ左面にはアランプラ宮殿のパティオでギターを弾くセゴビアの後姿を表した絵がそれぞれ飾られている。また、インテリアから食器に至るまでスペイン風でコーディネートされ、「エスパーニャ」に対する徹底的なこだわりを感じ取る事が出来る。

オープンして3ヶ月後にボサノバギターの大家・佐藤正美さんとコンボのライブを皮きりに、9月には柴田健・福山敦子ご夫妻のデュオ、10月には増井一友さん等々ライブの企画にも意欲的である。11月には7日(火)にペルー人フオルコロレグル・ブ・ブカソニコを迎えての異色のライブ、17日(金)には関西ギター界のヒロイン・有本ちよさん、とスケジュールは順調に進んでいる。普段は希望なら誰でもステージで弾く事が出来ると言う事だ。やりたがり、目立ちたがりのキミにはまたと無いお店かも。営業時間は午後5時～12時。午後5時迄なら貸切でパーテイなどにも使用出来る。同期会などに是非どうぞ。場所は心齋橋駅下車・大丸とそごうの間を東へ徒歩5分。オーブ・ナテビル3階。目印は1階の居酒屋「ちやんと」。☎06-251-8066



柴田健・福山敦子のデュオ